

編集後記：この夏の猛暑に関連して、マスコミの取材を受ける機会が何回かあった。限られた時間の枠内で、科学的な話題についてこちらの真意を分かりやすく相手に伝えるのは、やはり容易なことではない。こちらの説明の仕方の拙さには違いないのだが、対象の本質を外さず、卑近な例を交えつつ相手の期待する分かりやすさのレベルに持ってゆくにはかなりの工夫が要る。例えば、異常気象の解説において、停滞性ロスビー波束の伝播に関連し、波動の群速度の概念は避けて通れない。しかし、この説明にはなかなか苦労させられる。聞き手が理科系出身ならば比較的楽なのだが、文科系出身者が相手の場合はやはり骨が折れる。

何回か取材を受けるうち、気象というのは常に我々の身近に感じられるものだから、その解説も誰でも理解できるものであって欲しいという聞き手側の期待が感じられてきた。例えば、素粒子関連の話題なら、鍵となる専門用語を1つ持ち出せば、俗世間とは隔絶された深遠・崇高な最先端の科学の雰囲気か醸し出される。聞き手がその難解な中身を理解できなくとも構わない。だが、気象の場合、それでは済まされない。例えば、天気や科学のコーナー以外では、ロスビー波という専門用語を持ち出せない場合が殆どのようなだ。

こうした違いは、気象学が実学的側面を明確に備えた自然科学であることにも由来するのであろう。実際、天気予報や異常気象、環境問題など、気象学は我々の日常生活の身近な部分に深く根付いている。そして、温暖化問題や天候デリバティブなど、今後も実学的側面の重要性は堅持されるであろう。

一方、その実学的側面が、少なからぬ若者に気象学への興味を抱かせ、この分野への人材供給を助けていた一面もある。一昔前までは、自分で天気図が描けなければ、海や山で遭難の憂き目に遭った。だから、天気図の読み方と描き方、それに関連した日本の四季の天気については、義務教育課程できちんと教えることになっていた。しかし、天気情報の入手が容易になった現在、学習指導要項からはその部分が大幅に削減されてしまった。今日でも、大学院の入試面接で気象分野を志望した動機を尋ねると、身近に感じられる科学だからと答える学生が少なくない。身近で簡単そうと安易に考える輩がいることも事実だが、少子化の進む中、そうした興味を抱く学生が少しでも増えれば喜ばしい。そのためにも、小・中・高校での大気海洋分野の教育について、学会としての対応も必要であろう。

(中村 尚)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)

編集委員 里村雄彦(理事)・古川武彦(理事)

藤部文昭(理事)

青柳曉典・大淵 濟・勝山健一

金田昌樹・上口賢治・川島正行

木村陽一・杵渕健一・小出 寛

小林健二・桜井敏之・佐藤晋介

小司禎教・関山 剛・高橋 宙

田口晶彦・寺坂義幸・中西幹郎

中村 尚・新村典子・平井雅之

別所康太郎・水野 量・望月隆史

山本 哲

地区編集委員 北海道 清水為一・渡部雅浩

東北 藤田由紀夫・岡本 創

関東 田代誠司・河野耕平

中部 永尾一平・岡田 京

関西 山本二郎・山中大学

九州 磯部英彦・中島健介

沖縄 宮良武男

編集書記 遠藤和子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体(図書館も含む)は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
学術著作権協会

Tel : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619

E-mail : naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Tel : 81-3-3475-5618, Fax : 81-3-3475-5619

E-mail : naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp